

# 事務事業評価シート

事務事業コード	008700	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	相談支援事業		所属名	福祉部 障がい福祉課

## 1. 基本情報

位置づけの 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成20年度 ～ 全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律
施策	1303	障がいのある人の自立支援				
目標の 施策の 目標	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	相談支援事業所数		12カ所	12カ所	運営方法	外部委託
	相談員数		35人	21人	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	相談支援事業費			予算事業コード	01-03-01-13-10-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	障がい者、その保護者、介護者など
意図 (どのような状態にするために)	福祉サービスの利用等について、相談支援・調整等を行う相談支援事業所を設置し、障がいのある人の地域生活への移行及び定着を積極的に推進する。
手段 (どうするのか)	相談支援事業は、障害者総合支援法に基づき市町村が主体となって実施する地域生活支援事業に位置づけられており、市内6か所に相談支援事業所(業務委託)を設置し、相談を受けたり、関係機関等との調整を行う。 また、平成27年度より基幹相談支援事業所を新たに設置した。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①指定相談支援事業所(6事業所)及び基幹相談支援事業所(1事業所)への相談業務等の委託	平成29年度 ①指定相談支援事業所(6事業所)及び基幹相談支援事業所(1事業所)への相談業務等の委託	平成30年度 ①指定相談支援事業所(6事業所)及び基幹相談支援事業所(1事業所)への相談業務等の委託	平成31年度 ①指定相談支援事業所(6事業所)及び基幹相談支援事業所(1事業所)への相談業務等の委託	平成32年度 ①指定相談支援事業所(6事業所)及び基幹相談支援事業所(1事業所)への相談業務等の委託	
	年度別実績	①相談支援事業所への業務委託 ・指定相談支援事業所6か所(延べ34,788件の相談に対応) ・基幹相談支援事業所1か所(基幹相談支援事業所では住民の個別相談は行わない)					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	90,700	0	0	0	0	
	直接経費 A	90,700	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	37,570	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	53,130	0	0	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	相談件数(H27年度)	単位	件	区分	目標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		実績	34788			0	0	0	0	0		
		(指標の説明)	相談支援事業所が対応した相談件数									
	2	目標	0	0	0	0	0					
		実績	0	0	0	0	0					
		(指標の説明)										
	3	目標	0	0	0	0	0					
		実績	0	0	0	0	0					
		(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 自立支援係 0857-20-3475</p> <p>【10次総の施策体系】 1303</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P73（福032）</p> <p>【事業の概要】 障害者総合支援法の施行により、相談支援事業は、市が実施する必須の事業である。 市内6箇所の指定相談支援事業所に本市の相談支援事業を委託し、障がいのある人が地域で安心して生活していくために必要となる各種サービス利用等のための相談支援・調整等を行う体制を整備し、障がいのある人の地域生活の定着及び移行を積極的に推進する。 また、平成27年度より他の相談事業所をはじめとするサービス提供事業所の連携強化や事業概要技能向上を目的とした基幹相談支援事業所を設置。</p> <p>【事業の成果】 基幹相談支援事業所及び指定相談支援事業所に相談支援業務を委託 ○基幹相談支援事業所（鳥取市社会福祉協議会） ○指定相談支援事業所：障がい者支援センターそよかぜ、障害者支援センターしらはま、相談支援センターサマーハウス、相談支援事業所アプローズ、地域生活支援センターみんなの家、指定相談事業所和貴の郷</p> <p>【今後の課題・方向性】 障がい者を取り巻く環境の変化に対応するため、相談支援事業の困難さは年々増加しており、事業継続が必要である。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	相談件数(H27年度)	105%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	相談内容等も複雑化し、かつ増加傾向にある中、現体制において、各相談支援事業所と基幹相談支援センターとが連携を取りつつ、障がい者等からの相談対応、必要な情報の提供や援助等を実施している。
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	各相談支援事業所や基幹相談支援センターが連携を図りつつ、障がい者の生活支援や就労支援のための障害福祉サービス等に関する必要な情報提供やアドバイスなどを行い、障がい者等の自立した日常生活や社会生活の維持・向上を図っている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加	<input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>障がい者の自立した生活を支援するために障害福祉サービスの提供を希望する者は増加しており、この傾向は今後長期にわたるものと見込まれる。このため、相談支援事業所の業務は急増しており、また、権利擁護制度の活用や介護保険、生活保護などを利用しなければ支援できない、いわゆる困難事例も増加傾向にあるため、問題解決に向けて高い能力を有する相談専門員の確保、増員拡充は必要である。</small>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	008800	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	障がい児を育てる地域の支援体制整備事業		所属名	福祉部 障がい福祉課	

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	平成25年度 ～ 全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり	根拠法令、根拠計画等	鳥取市要医療障がい児者在宅生活支援事業(重症心身障がい児者等受入事業所医療機器購入助成)補助金交付要
施策	1303	障がいのある人の自立支援			
施策の目標	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分
	相談支援事業所数		12カ所	12カ所	
	相談員数		35人	21人	運営方法
予算	予算事業名	障がい児を育てる地域の支援体制整備事業費		会計区分	一般会計
	予算事業コード			01-03-01-03-50-01	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	医療専門職を配置している放課後等デイサービス、生活介護事業者
意図 (どのような状態にするために)	在宅で生活する医療ケアが必要な障がい児・者の受け入れを行う。
手段 (どうするのか)	必要な医療機器の購入について支援する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①医療器具整備助成 助成事業所:1事業所 助成額合計:1,000千円	平成29年度 ①医療器具整備助成 助成事業所:1事業所 助成額合計:1,000千円	平成30年度 ①医療器具整備助成 助成事業所:1事業所 助成額合計:1,000千円	平成31年度 ①医療器具整備助成 助成事業所:1事業所 助成額合計:1,000千円	平成32年度 ①医療器具整備助成 助成事業所:1事業所 助成額合計:1,000千円	
	年度別実績	①医療器具整備助成 助成事業所:1事業所 助成額合計:1,000千円 ※計6事業所で整備済					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	1,000	0	0	0	0	
	直接経費 A	1,000	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	500	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	500	0	0	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		医療機器が充足された事業所数(累計)	事業所	目標	6	6	6	6	6
		(指標の説明)	実績	6	0	0	0	0	
	2	目標	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0		
		(指標の説明)							
	3	目標	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0		
		(指標の説明)							

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 自立支援係 0857-20-3475</p> <p>【10次総の施策体系】 1303</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P69（福023）</p> <p>【事業の概要】 肢体不自由や発達障がい等の特にケアの必要な障がい児を療育する放課後等デイサービス事業所等に対して、医療専門職による医療ケアや治療を実施するにあたり必要な医療器具等に係る経費を県と共同で助成する。</p> <p>【事業の成果】 平成28年度1事業所に対し助成を行い、この制度のより医療機器を整備した事業所は、6事業所となった。</p> <p>【今後の課題・方向性】 肢体不自由や発達障がい等の特にケアの必要な障がい児の受け入れのニーズは常にある状況にあり、事業所の受け入れ体制を整備するため、県と共同して事業を継続する必要がある。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	医療機器が充足された事業所数(累計)	100%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	平成28年度1事業所に対し助成を行なった。
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	平成28年度1事業所に対し助成を行い、この制度のより医療機器を整備した事業所は、6事業所となった。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>		

肢体不自由や発達障がい等の特にケアの必要な障がい児の受け入れのニーズは常にある状況にあり、事業所の受け入れ体制を整備するため、県と共同して事業を継続する必要がある。

# 事務事業評価シート

事務事業コード	008900	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	重度障がい者(児)タクシー料金助成事業		所属名	福祉部 障がい福祉課

## 1. 基本情報

位置づけの 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	平成5年度～全期	
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり	根拠法令、 根拠計画等	鳥取市重度障がい者タクシー料 金助成事業実施要項	
施策	1303	障がいのある人の自立支援				
目標の 実施の 目標	目標の種類		平成28年度	平成32年度		
	相談支援事業所数		12カ所	12カ所	事業分類区分	ソフト(任意)
	相談員数		35人	21人	運営方法	その他
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	重度障がい者(児)タクシー料金助成費		予算事業コード	01-03-01-03-17-01	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	身体障害者手帳1・2級、療育手帳A又は精神障害者保健福祉手帳1級を所持する者で所得税及び住民税非課税のもの
意図 (どのような状態にするために)	重度障がい者の日常生活の利便性向上と社会参加を支援し、もって障がい者福祉の向上を図る。
手段 (どうするのか)	タクシー利用券を月4枚交付。1枚あたり、初乗り運賃の9割相当額(小型車560円、中型車等570円を限度)

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①タクシー利用券の交付 交付者数:1,100人 交付枚数:21,559枚 ※H28年度実績	平成29年度 ①タクシー利用券の交付 交付者数:1,100人 交付枚数:21,559枚 ※H28年度実績	平成30年度 ①タクシー利用券の交付 交付者数:1,100人 交付枚数:21,559枚 ※H28年度実績	平成31年度 ①タクシー利用券の交付 交付者数:1,100人 交付枚数:21,559枚 ※H28年度実績	平成32年度 ①タクシー利用券の交付 交付者数:1,100人 交付枚数:21,559枚 ※H28年度実績	
	年度別実績	①タクシー利用券の交付 ○交付者数:1,091人 ○交付枚数:21,183枚					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	11,957	0	0	0	0	
	直接経費 A	11,957	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	11,957	0	0	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名		単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
	1	交付者数	人	目標	1100	1100	1100	1100	1100	
				実績	1091	0	0	0	0	
	(指標の説明) 交付は希望(申請)者に対し行うもの。									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)									
	3				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)									

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 障がい者福祉係 0857-20-3474</p> <p>【10次総の施策体系】 1303</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P67（福020）</p> <p>【事業の概要】 重度障がい者の日常生活の利便向上と社会参加の拡大を支援するため、タクシー料金の一部を助成する利用券を交付し、障がい者福祉の増進を図る。 ・対象者：身体障害者手帳1・2級、療育手帳A又は精神障害者保健福祉手帳1級を所持する者で所得税及び住民税非課税の者 ・交付枚数：月4枚（申請月に応じて交付）1枚あたり、初乗り運賃の9割相当額（小型車560円、中型車等570円を限度） ※この他、身体障害者手帳又は療育手帳を所持する者に対しては、県内の全タクシー会社が運賃の1割引を行っている。本市の助成は、1割引後の運賃から上記の金額を助成する。</p> <p>【事業の成果】 平成28年度：1,091人に交付し、21,183枚の利用があった。</p> <p>【今後の課題・方向性】 重度障がい者の日常生活の利便と社会参加の拡大を図るものであり、今後も継続して行う必要がある。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	交付者数	99%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	1,091人に交付し、21,183枚の利用があった。
<p>事業の成果</p> <p><small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	目標値は、実際に交付見込みのある人数が賄えるように確保した予算の枠で設定しているため100%を超えることはない。本事業では希望される方には全て交付できているので、目標を達成できているものと見なす。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>重度障がい者の日常生活の利便と社会参加の拡大を図るものであり、今後も継続して行う必要がある。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	009000	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	重症心身障がい児者等日中支援事業		所属名	福祉部 障がい福祉課

## 1. 基本情報

位置づけ の 位置	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	平成26年度 ～ 全期	
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり	根拠法令、 根拠計画等	鳥取市重度障がい児者支援事業補助金交付要綱	
施策	1303	障がいのある人の自立支援				
目標の 実施の 目標	目標の種類		平成28年度	平成32年度	事業分類区分 ソフト(任意)	
	相談支援事業所数		12カ所	12カ所		運営方法 補助金交付
	相談員数		35人	21人		
予算	予算事業名	重症心身障がい児者等日中支援事業費		予算事業コード	01-03-01-03-51-01	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	重症心身障がい児者に対して生活介護、放課後等デイサービス事業による支援を行う事業所
意図 (どのような状態にするために)	在宅で生活する重症心身障がい児者の活動を支援すること及び保護者の負担、不安を軽減すること並びに重症心身障がい児者の支援体制の充実を図るため。
手段 (どうするのか)	重症心身障がい児者に対して受け入れを行っている生活介護事業所、放課後等デイサービス事業所に対し支援を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①重症心身障がい児者受け入れ施設補助 ・生活介護事業所:6事業所 ・放課後等デイサービス事業所:5事業所	①重症心身障がい児者受け入れ施設補助 ・生活介護事業所:6事業所 ・放課後等デイサービス事業所:8事業所	①重症心身障がい児者受け入れ施設補助 ・生活介護事業所:6事業所 ・放課後等デイサービス事業所:8事業所	①重症心身障がい児者受け入れ施設補助 ・生活介護事業所:6事業所 ・放課後等デイサービス事業所:8事業所	①重症心身障がい児者受け入れ施設補助 ・生活介護事業所:6事業所 ・放課後等デイサービス事業所:8事業所	
	年度別実績	①重症心身障がい児者受け入れ施設へ補助交付 ・生活介護事業所:6事業所 ・放課後等デイサービス事業所:5事業所					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	21,739	0	0	0	0	
	直接経費 A	21,739	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	10,869	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	10,870	0	0	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
活動指標	1	重症心身障がい児者を受け入れる事業所数	事業所	目標	11	14	14	0	0	
				実績	11	0	0	0	0	
	(指標の説明)									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【【問合せ先】 自立支援係 0857-20-3475</p> <p>【10次総の施策体系】 1303</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P70（福025）</p> <p>【事業の概要】 重症心身障がい児者等を支える事業所及び支援者が少ない中、保護者が必至に援している現状がある。保護者の精神的・身体的負担は大きく、保護者の高齢化に伴い在宅生活に限界が生じている。また、保護者・本人は親亡きあとの生活に不安を抱えており、受け皿となる事業所（生活介護・放課後デイ事業所）を整備し、持続的な運営を支援することが必要となっている。 重症心身障がい児者等がより地域で生活しやすくするため日中活動の場における支援の充実を図ることを目的とする。 ○補助対象：生活介護事業所、放課後等デイサービス事業所において、重症心身障がい児者等の日中支援を行う社会福祉法人等 ○補助基準単価：生活介護事業所利用 一人当たり 2,900円/日 放課後等デイサービス事業利用 一人当たり 1,900円/日</p> <p>【事業の成果】 生活介護事業所 6事業所 放課後等デイサービス事業所 5事業所</p> <p>【今後の課題・方向性】 重症心身障がい児者を受け入れる事業所の充実を図ることは必要であり、継続していくことが望ましい。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	重症心身障がい児者を受け入れる事業所数	100%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	計画通りの事業所数の補助を行った。
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	在宅で生活する重症心身障がい児者を受け入れしている事業所の体制構築の支援につながっている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>重症心身障がい児者の活動を支援すること及び保護者の負担を軽減すること並びに重症心身障がい児者の支援体制の充実のために今後も継続して支援する必要がある。</small>	



# 事務事業評価シート

事務事業コード	009100	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	国民健康保険団体連合会負担金等事業		所属名	福祉部 障がい福祉課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	平成18年度 ～ 全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり	根拠法令、根拠計画等	
施策	1303	障がいのある人の自立支援			
施策の目標	目標の種別		平成28年度	平成32年度	
	相談支援事業所数		12カ所	12カ所	事業分類区分
	相談員数		35人	21人	運営方法
			0	0	会計区分
予算	予算事業名	国民健康保険団体連合会負担金等		予算事業コード	01-03-01-13-16-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	障害者総合支援法に係る介護給付費、訓練等給付費及び障害福祉サービス等の精算
意図 (どのような状態にするために)	障害福祉サービス費の支払いを迅速かつ正確に行う。
手段 (どうするのか)	障害福祉サービス費として居宅介護などの介護給付費、自立訓練などの訓練等給付費、相談支援事業の一環としての利用計画作成費、施設入所者等に対する特定障害者特別給付費等について、電子請求システムを活用し、鳥取県国民健康保険団体連合会経由で精算方式行うための手数料及び負担金を支払う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
	年度別実績	①障がいのある方が利用した障害福祉サービスに係る費用を負担する。					
		①延べ39,615件、4,129,338千円の支払いを行った。					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	4,129,338	0	0	0	0	
	直接経費 A	4,129,338	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	3,092,373	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,036,965	0	0	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		鳥取県国民健康保険団体連合会負担金	千円	目標	4129338	0	0	0	0	
			実績	4129338	0	0	0	0		
	(指標の説明) 障がいのある方が利用した障害福祉サービスの実績による負担で目標値設定が困難なため実績での管理を行う。									
	2		目標		0	0	0	0	0	
			実績		0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標		0	0	0	0	0		
		実績		0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 障がい者福祉係 0857-20-3474</p> <p>【10次総の施策体系】 1303</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P75（福036）</p> <p>【事業の概要】 障害者総合支援法に係る障害福祉サービス費等（介護給付費、訓練等給付費他）の精算は、鳥取県国民健康保険団体連合会経由での精算方式として、負担金で支出している。障害福祉サービス費として居宅介護などの介護給付費、自立訓練などの訓練等給付費、相談支援事業の一環として実施するサービス利用計画作成費、施設入所者等に対する特定障害者特別給付費等を支給する。</p> <p>【事業の成果】 平成26年度 延べ35,660件 3,897,691千円 平成27年度 延べ38,253件 4,042,940千円 平成28年度 延べ39,615件 4,129,338千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 障害福祉サービスを提供することは、障がい者が住み慣れた地域で自立した生活を送るための支援を行うために、今後も必要である。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	鳥取県国民健康保険団体連合会負担金	100%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	障がい者がその能力や適性に応じ、自立した日常生活及び社会生活を営むために必要な障害福祉サービス費の支給を行った。
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	障がい福祉サービスの実績に応じ支払いが必須なものであるため、成果としては目標どおりとする。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>		

障害福祉サービス費の支給は、障がい者がその能力や適性に応じ、自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう支援することにつながり、今後も継続が必要である。